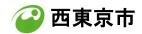
記 者 会 見 資 料 平成 29 年 8 月 2 8 日



だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して

~UR都市機構と協定を締結しました~

1 概要

西東京市と独立行政法人都市再生機構(「UR 都市機構」という。)は、7月31日に「ひばりが丘パークヒルズ団地における連携協力に関する協定」を締結しました。

本協定は、UR 都市機構が管理する、ひばりが丘パークヒルズ団地(ひばりが丘3丁目)(「団地」という。)において、両者が連携協力し、西東京市が掲げるまちづくりの目標である「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」及び UR 都市機構による団地の地域医療福祉拠点化の目的である「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち(ミクストコミュニティ)」の実現を目指します。

今後、本協定に基づいた各種取組を進める中で、少子高齢社会への対応や共生 社会の構築といった、将来を見据えたまちづくりについても調査・研究していき ます。

2 連携協力事項

- (1) 超高齢社会における地域づくりに関すること。
- (2)包括的な地域福祉の体制づくり及び在宅療養の推進に関すること。
- (3)健康寿命の延伸及び健康づくりに関すること。
- (4) 多世代交流の促進、居場所づくり及び全世代型の相談体制の構築に関すること。
- (5) その他、地域の活性化及び賑わいの創出に関すること。

3 平成29年度の取組

本年5月からは、協定に先行する形で、団地の集会所にて、西東京市と東京大学高齢社会総合研究機構(IOG)との連携事業である「フレイル予防事業」(都内初の取組)をモデル的に開始しています。

【問い合わせ先】 企画政策課(TEL:042-460-9800)

資料のポイント

- 連携協力事項は5項目
- 今後、各種取組を進めるとともに、少子高齢社会への対応や共生社会の構築といった、将来を見据えたまちづくりについても調査・研究していく。
- 本年5月からは、協定に先行する形で、「フレイル予防事業」(都内初の取組)をモデル的に開始している。